



平成 28 年 5 月 27 日

各 位

会 社 名	株 式 会 社 免 疫 生 物 研 究 所 (コード番号：4570)
本店所在地	群馬県藤岡市中字東田 1091 番地 1
代 表 者	代表取締役社長 清 藤 勉
問 合 せ 先	取締役事業統括推進本部長 中 川 正 人
電 話 番 号	0274-22-2889 (代表)
U R L	http://www.ibl-japan.co.jp

研究用試薬「27600：Gd-IgA1 (Galactose-deficient IgA1) Assay Kit-IBL」の製造販売に関するお知らせ

当社は、サンドイッチ ELISA 法を用いた「糖鎖不全 IgA1 (Gd-IgA1) 測定キット」の製造販売に関して、開発元の協和発酵キリン株式会社と試料譲渡契約を交わし、研究用試薬としての製造販売を開始致しますので、お知らせいたします。

記

1. 製品の概要

近年、ガラクトース欠損型異常糖鎖 IgA1 (Galactose-deficient IgA1; Gd-IgA1) は、IgA 腎症患者の病態発症および進展に関与する因子として注目を集めています。IgA 腎症は、検尿で血尿や蛋白尿を認め、腎臓の糸球体に免疫グロブリンの IgA という蛋白が沈着する病気です。多くは慢性の経過をたどります。日本では慢性糸球体腎炎の約 40% が IgA 腎症であり、国内患者数は年間 2-3 万人と推定されています。患者の 30~40% が末期腎不全に至る予後不良の病気です。その確定診断には腎生検による病理診断が必要であり、簡便な検査法が切望されています。

ヒト IgA1 分子の重鎖ヒンジ領域には O 結合型糖鎖修飾領域があり、IgA 腎症患者では Gd-IgA1 として血中を循環していると考えられています。

これまでの研究で、IgA 腎症患者における血清 Gd-IgA1 レベルが、健常者あるいは非 IgA 腎症患者に比べて高値であることが示され、血清 Gd-IgA1 を測定することの意義と重要性が認識されつつあります。本 Gd-IgA1 Assay Kit-IBL は、世界に先駆けて開発されたヒト Gd-IgA1 のガラクトース欠損ヒンジ配列を特異的に認識するモノクローナル抗体を用いた測定系です。これまで用いられていたレクチンによる測定系に比べて、正確かつ安定した測定が可能になったことから、広く IgA 腎症の研究に用いられることが期待でき、大規模な試験にもご利用頂けます。

* 本製品は研究用試薬であり、体外診断用医薬品ではありません。

製品名	Gd-IgA1 (Galactose-deficient IgA1) Assay Kit-IBL
使用目的	血清又は血漿中の Gd-IgA1 の測定
特徴	少数の検体から多数の検体まで幅広く、簡便に対応することができるようになり、製薬企業、検査センターや病院の検査部門などでも広く測定することが可能となります。
発売予定日	平成 28 年 6 月 1 日

2. 今後の見通し

当該製品の今期業績に与える影響は、現在精査しておりますが、今後公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上